

DVE781

取扱説明書

◆ご使用方法 - 上級編 -

- ・メニュー機能を使いこなす 9
- ・メニュー項目の流れ 10
- ・メニュー項目の説明 11~34
- ・オートパワー設定 35~36
- ・ワイド識別信号コントロール機能 37~38
- ・データビュー機能 39~40
- ・ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する 41~42
- ・全ての設定値を初期値に戻す 43

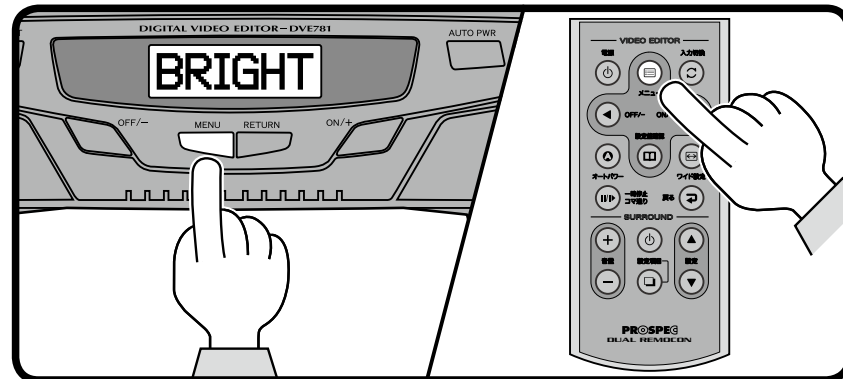
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

メニュー機能を使いこなす

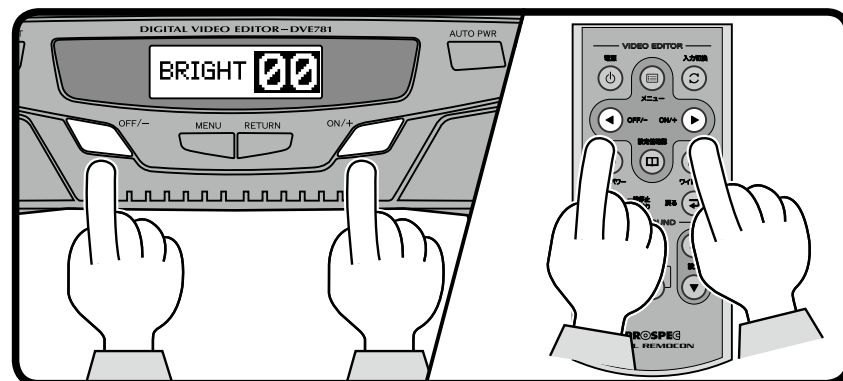
- 1 MENU[メニュー]ボタンを押すと、直前に選択していたメニュー項目が表示され、MENU[メニュー]ボタンを押すごとにメニュー項目が切り替わる。

例) 明るさ調整



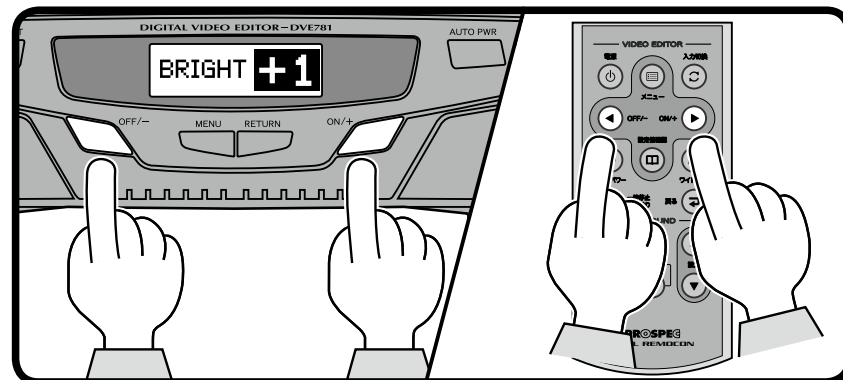
- 2 OFF/-[OFF/-]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押して、表示しているメニュー項目の設定モードに切り替える。

例) 明るさ調整

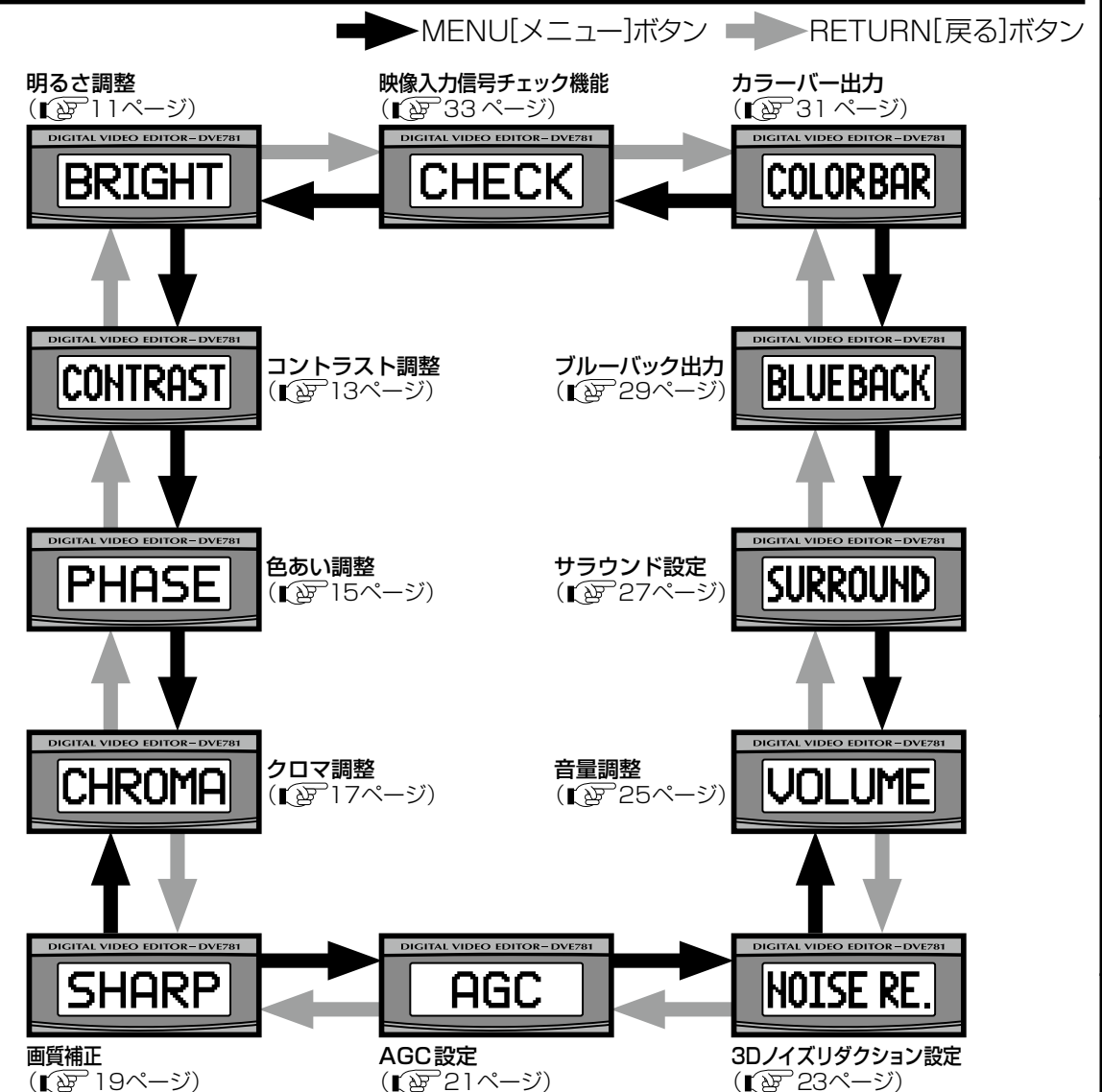


- 3 再度OFF/-[OFF/-]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押して設定値を変更する。

例) 明るさ調整



メニュー項目の流れ



！ワンポイント

- 各設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。
- メニュー項目は、再生機器別(入力1/入力2)に対して独立して設定できます。各再生機器によって微妙に異なる映像の色あいやコントラストなどを独立して設定しておくことができ便利です。
- 直前に選択していたメニュー項目は記憶されています。通常表示中にOFF/-[OFF/-]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すことにより、直前に選択していたメニュー項目を表示、すぐに設定変更ができます。ただし、電源を切った後再び電源を入れると、「BRIGHT」から始まります。
- ディスプレイにいずれかのメニュー項目が表示されているときに RETURN[戻る]ボタンを押すと、メニュー項目が逆回りに切り替わります。
- メニュー項目表示中にボタン操作をしない状態が5秒以上続くと、自動的に「EDITING!!!」(映像信号入力時)、または「DVE」(映像信号未入力時)表示に戻ります。
- 録画目的で入力した映像ソースをメニュー画面で調整した場合、調整された状態の映像が録画されます。

ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

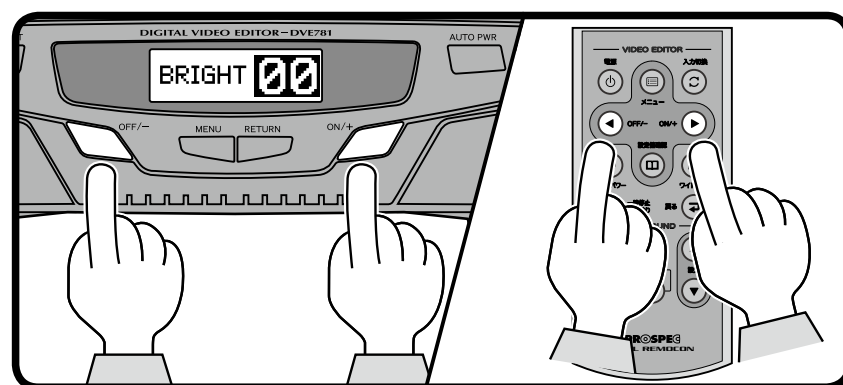
メニュー項目の説明

明るさ調整

[初期値:0] [調整範囲:-5 ~ +5]

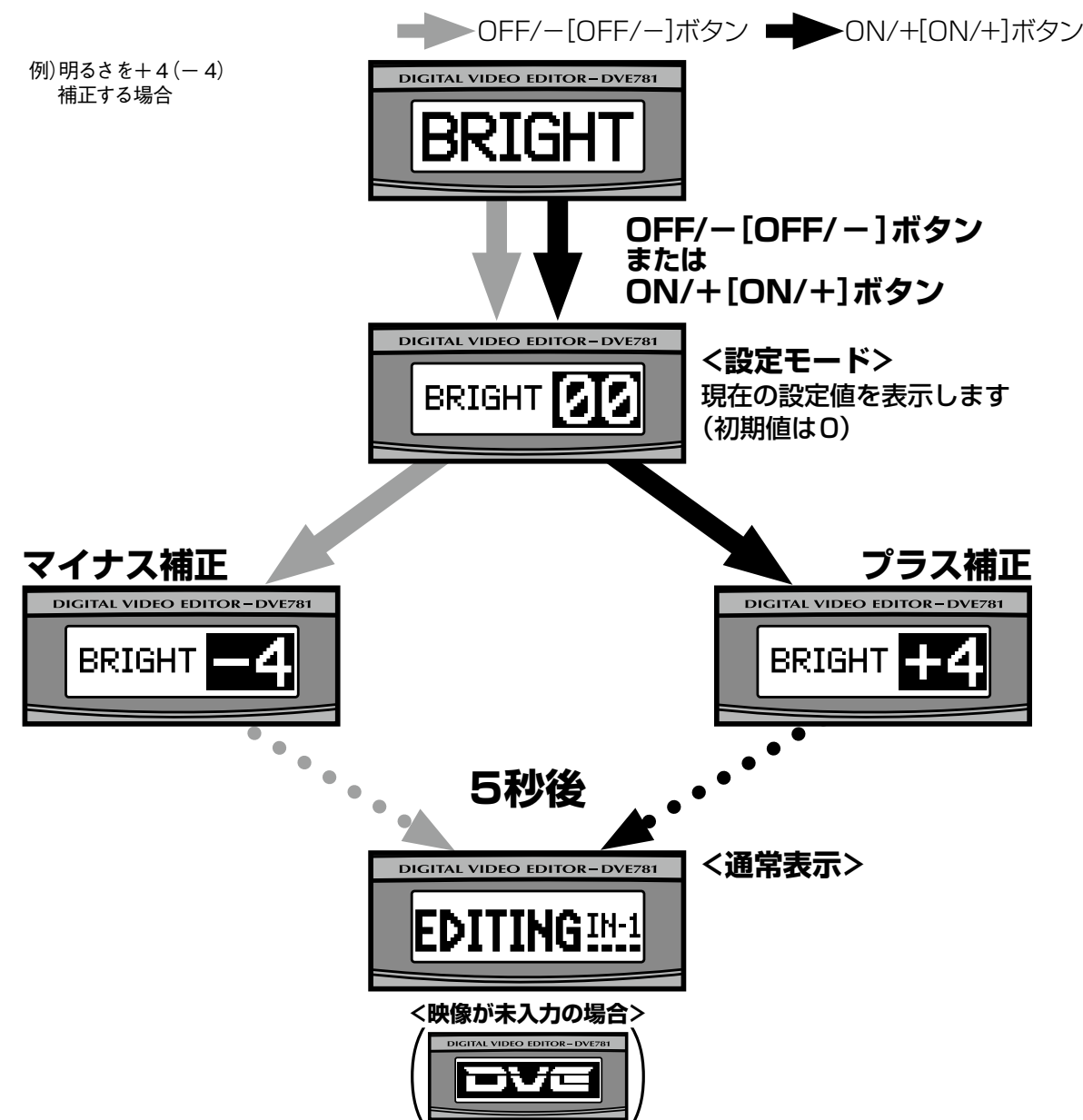
1 「BRIGHT」を表示させる。(P.9 ~ 10 ページ)

2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、明るさの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の輝度を調整して出力します。
- 使用用途：暗すぎるまたは明るすぎる映像を最適な明るさに調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に明るくなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると全体的に暗くなっていきます。

例) 明るさを+4 (−4)
補正する場合



明るさ調整−4 の表示	明るさ調整なし の表示	明るさ調整+4 の表示

ご使用方法 - 上級編 -

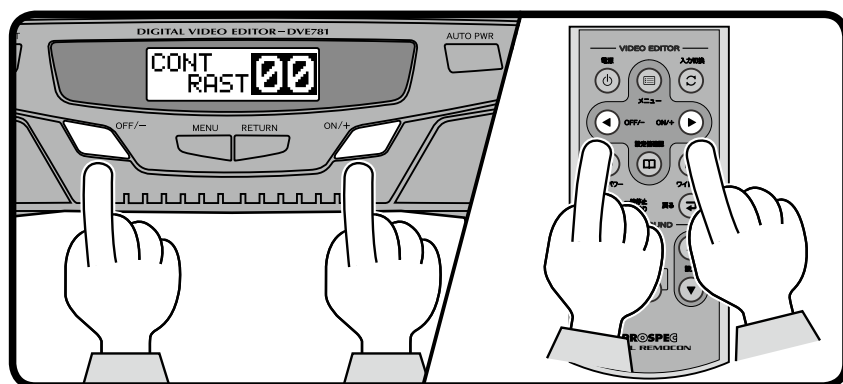
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

コントラスト調整

【初期値:0】 【調整範囲:-5 ~ +5】

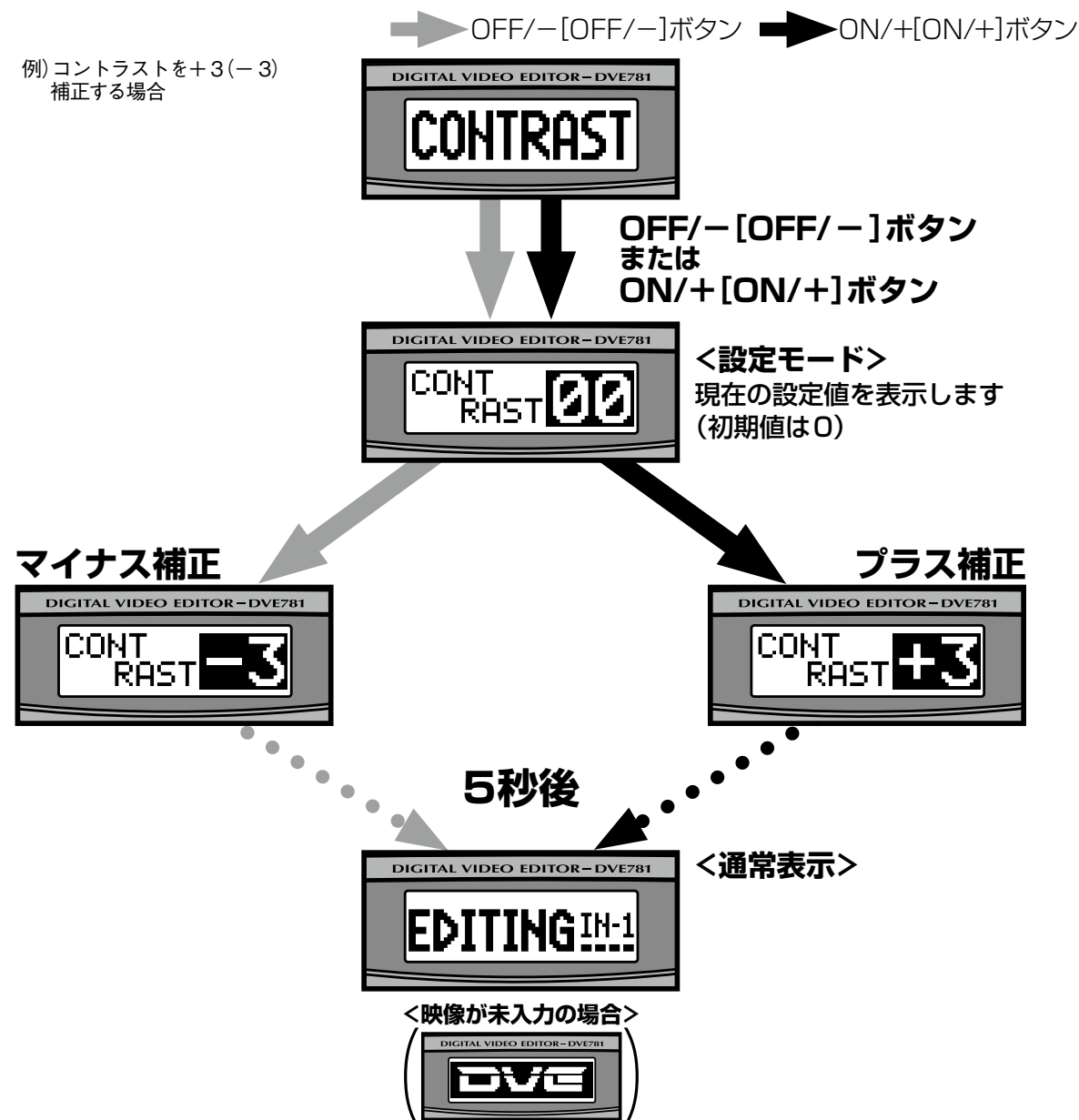
1 「CONTRAST」を表示させる。(p.9 ~ 10 ページ)

2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、
コントラストの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の明暗比を調整して出力します。
- 使用用途：暗い部分と明るい部分の差が大きくまぶしく見える場合や、暗い部分と明るい部分の境目が分かりにくい場合に見やすい映像に調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると明るい部分がより明るくなっていきます。
マイナス(-)側に調整すると明るい部分が暗くなっていきます。

例) コントラストを+3 (-3)
補正する場合



コントラスト調整-3 の表示	コントラスト調整なし の表示	コントラスト調整+3 の表示

ご使用方法 - 上級編 -

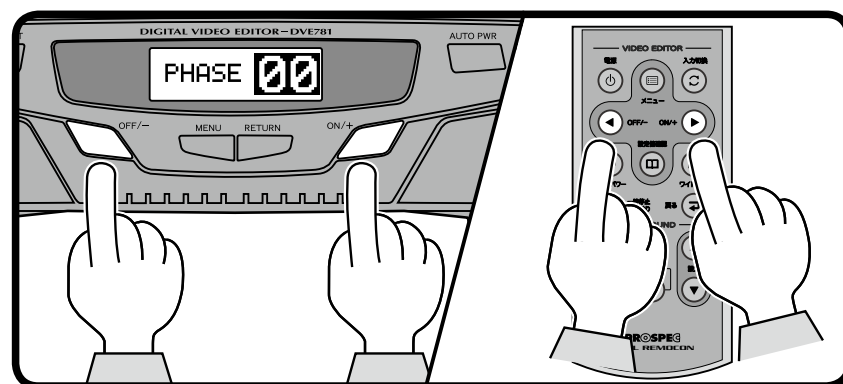
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

色あい調整

【初期値:0】 【調整範囲:-5 ~ +5】

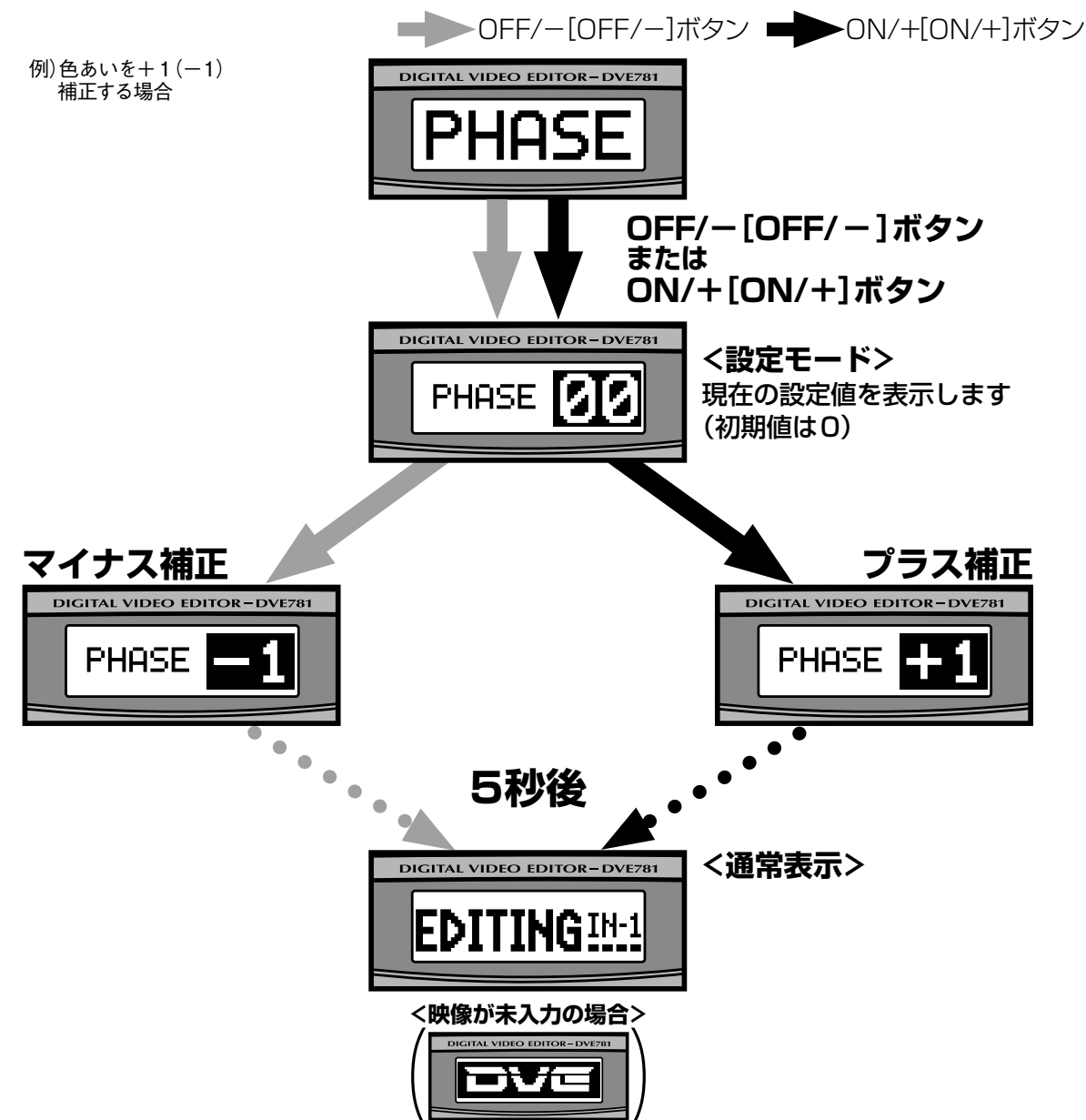
1 「PHASE」を表示させる。(9 ~ 10 ページ)

2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。



- 効果 果：入力した映像の色バランスを調整して出力します。
- 使用用途：人肌の色などが不自然な場合、自然な色に調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に赤色に近づいていきます。
マイナス(-)側に調整すると緑色に近づいていきます。

例) 色あいを+1 (-1)
補正する場合

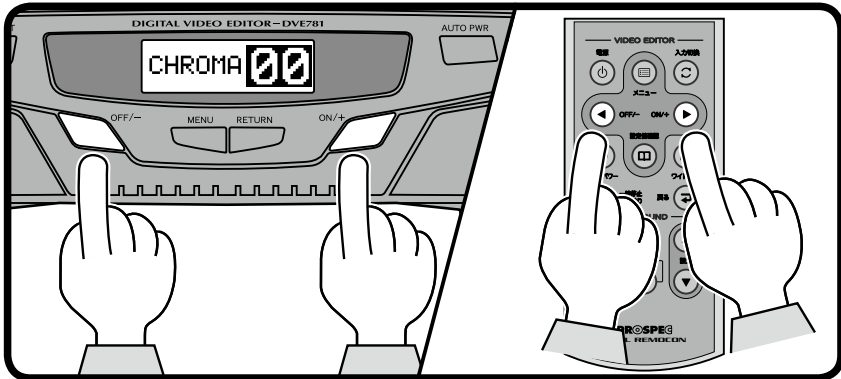


色あい調整-1 の表示	色あい調整なし の表示	色あい調整+1 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE781 PHASE -1	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE781 PHASE 00	DIGITAL VIDEO EDITOR-DVE781 PHASE +1

クロマ調整

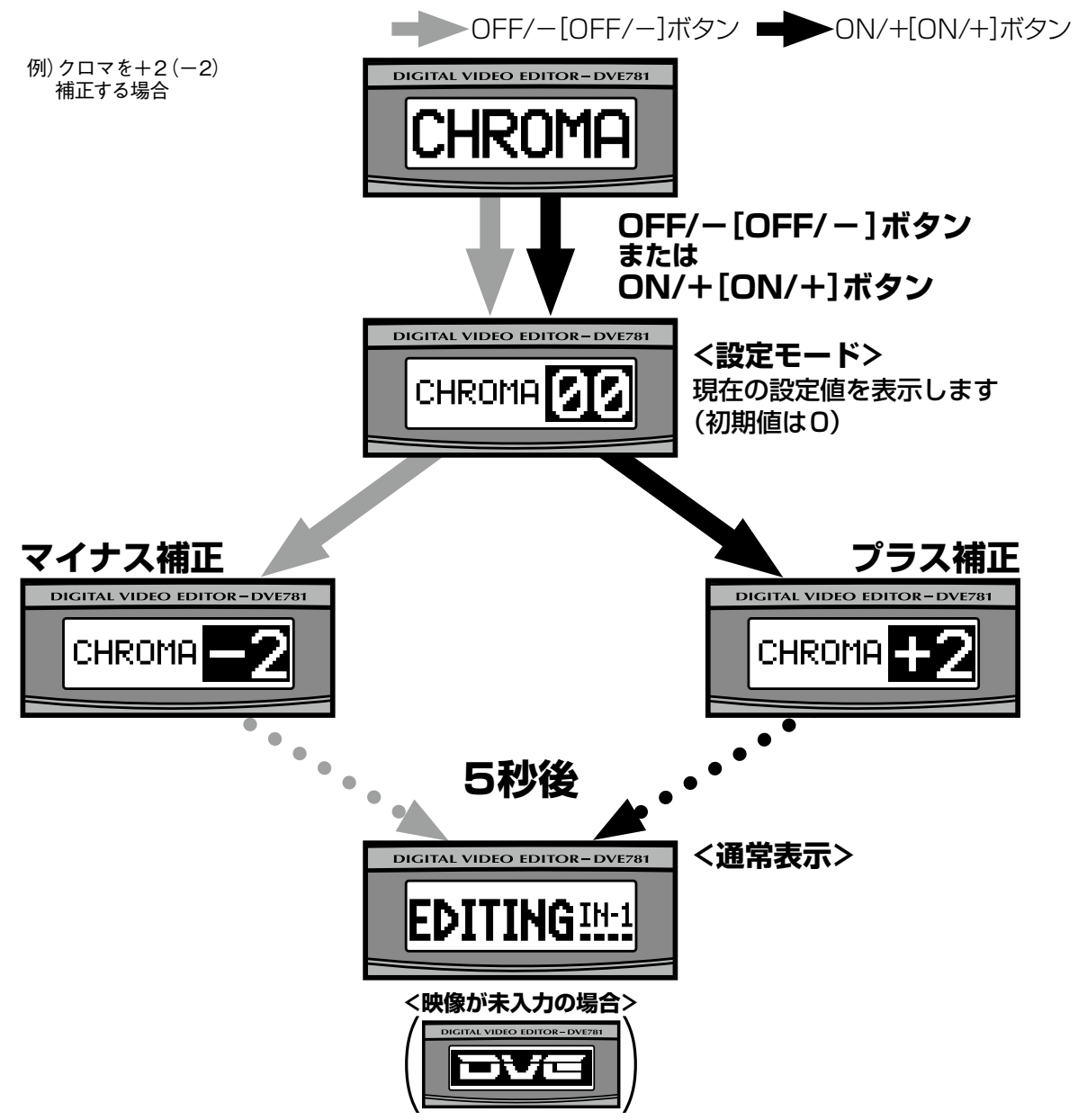
[初期値:0] [調整範囲:-5 ~ +5]

- 1 「CHROMA」を表示させる。(p.9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/-[OFF/-]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。



- 効 果：入力した映像の色の濃さを調整して出力します。
- 使用用途：色あせた古いビデオテープの映像や色の濃すぎる映像の色濃度を調整できます。
- 調整方法：プラス(+)側に調整すると全体的に色が濃くなっていきます。
マイナス(-)側に調整すると色が薄くなるとともに白黒映像に近づいていきます。

例) クロマを+2 (-2)
補正する場合

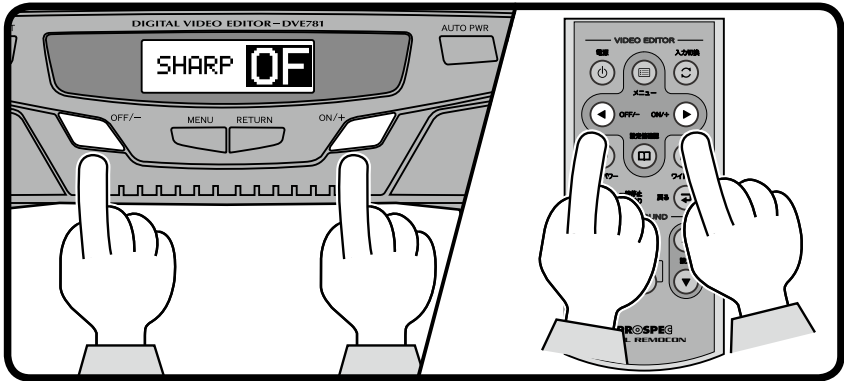


クロマ調整-2 の表示	クロマ調整なし の表示	クロマ調整+2 の表示

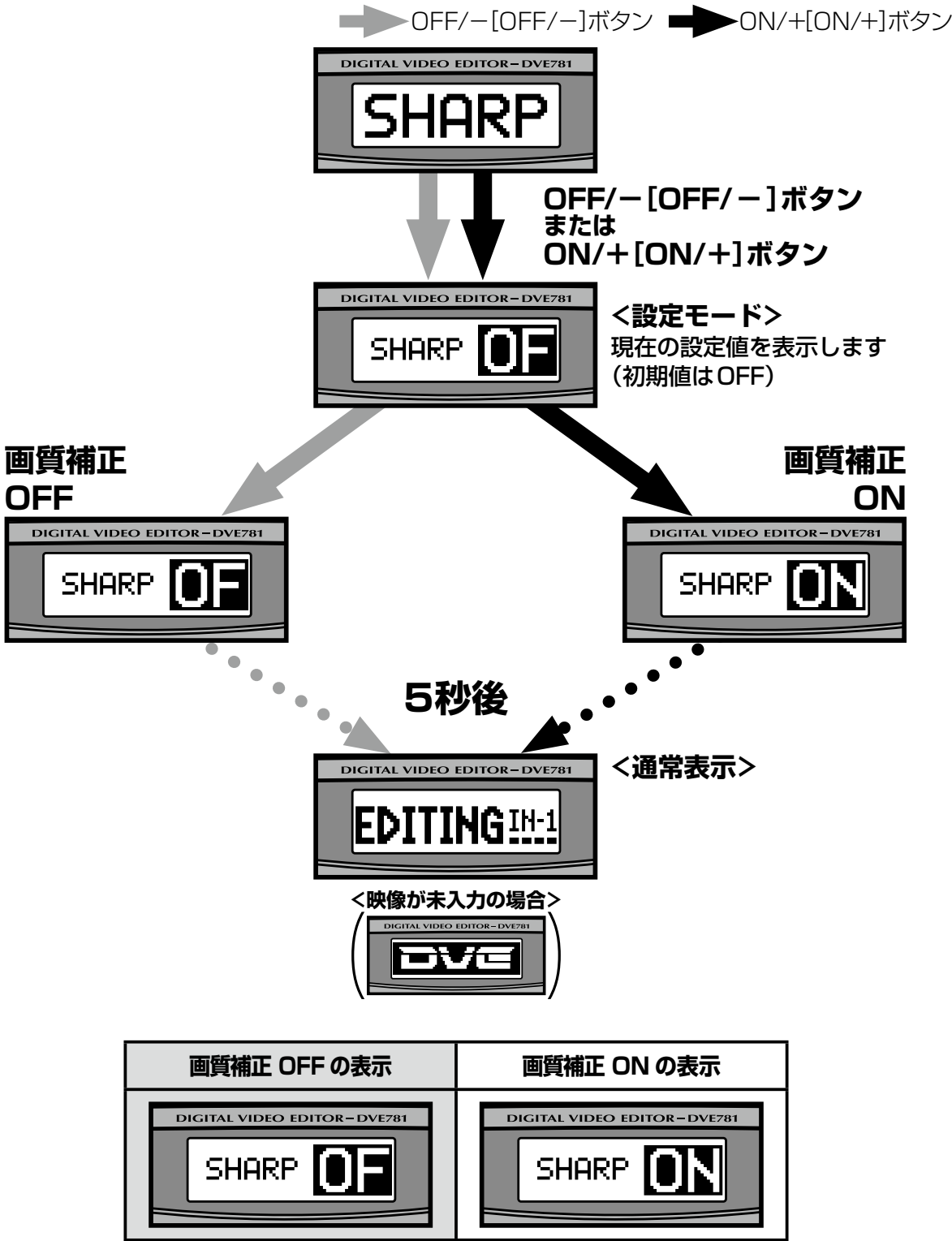
画質補正

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

- 1 「SHARP」を表示させる。(p. 9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更できる。



- 効 果：入力した映像にシャープさを加えて出力します。
- 使用用途：映像が全体的にぼやけていると感じた場合に境目がはっきりとした見やすい映像に設定できます。
- 設定方法：「ON」に設定すると輪郭を強調した映像になります。主に VHS (アナログメディア) の映像を編集するときに設定します。
「OFF」に設定すると輪郭を強調しない映像になります。主に DVD (デジタルメディア) の映像を編集するときに設定します。

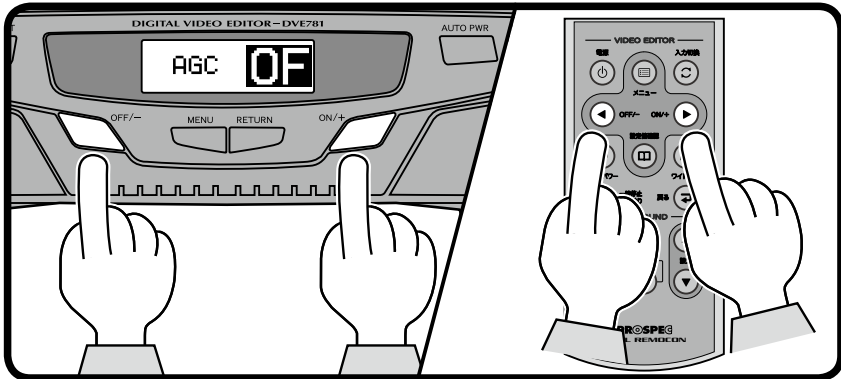


ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

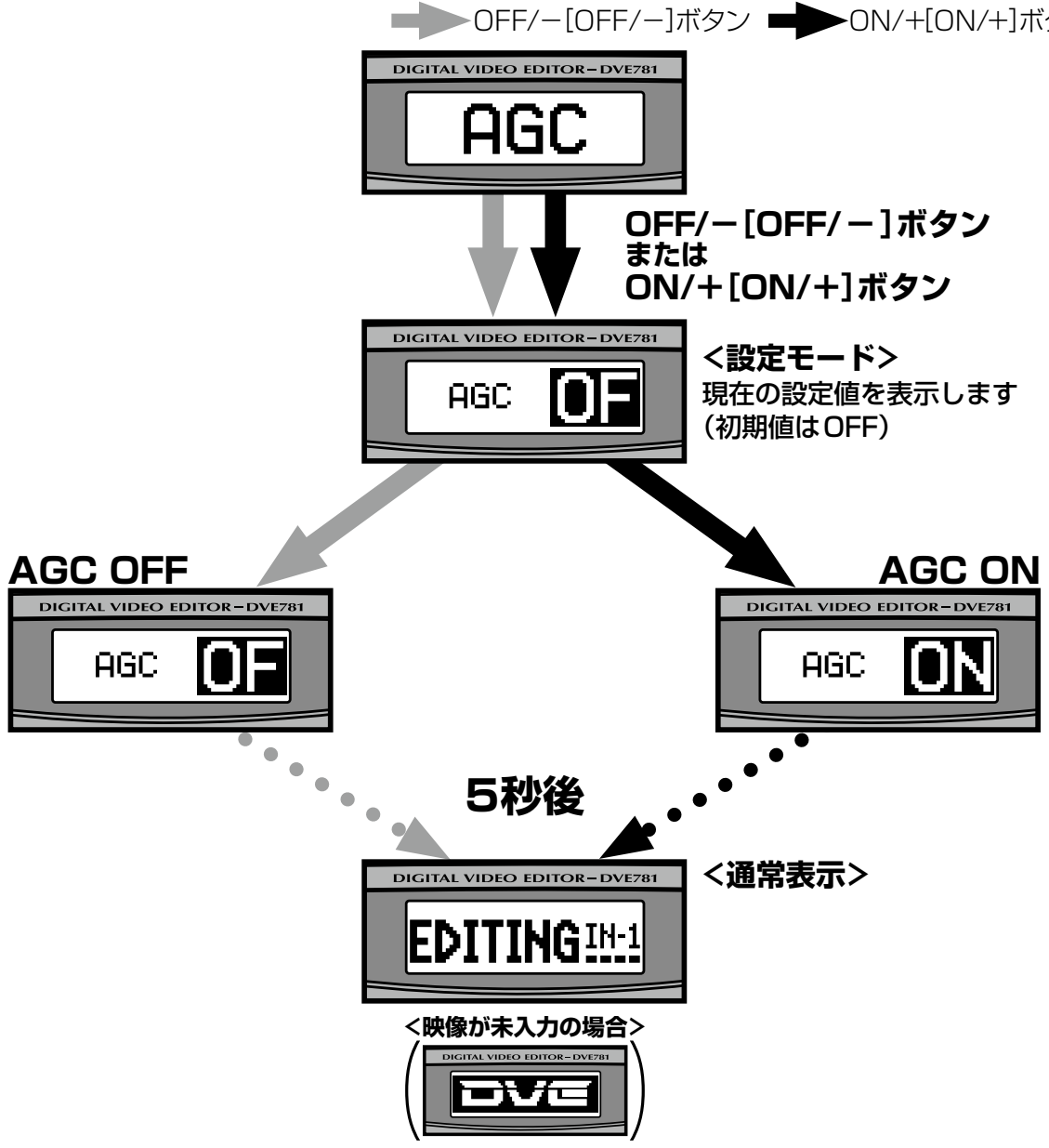
AGC (オートゲインコントロール) 設定

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

- 1 「 AGC 」を表示させる。(9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、AGCの設定を変更できる。



- 効 果：入力した映像信号を最適値に変換して出力します。
 - 使用用途：入力した映像が明るすぎる、または暗すぎると感じた場合に使用します。
 - 設定方法：「ON」に設定すると映像信号を自動調整します。
「OFF」に設定すると自動調整は起こないません。
- ※「ON」に設定すると、他の映像調整機能の効果が分かりにくくなる場合があります。

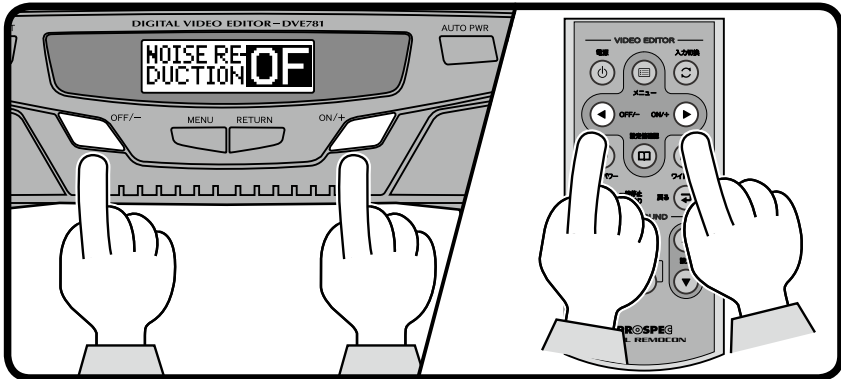


AGC OFF の表示	AGC ON の表示

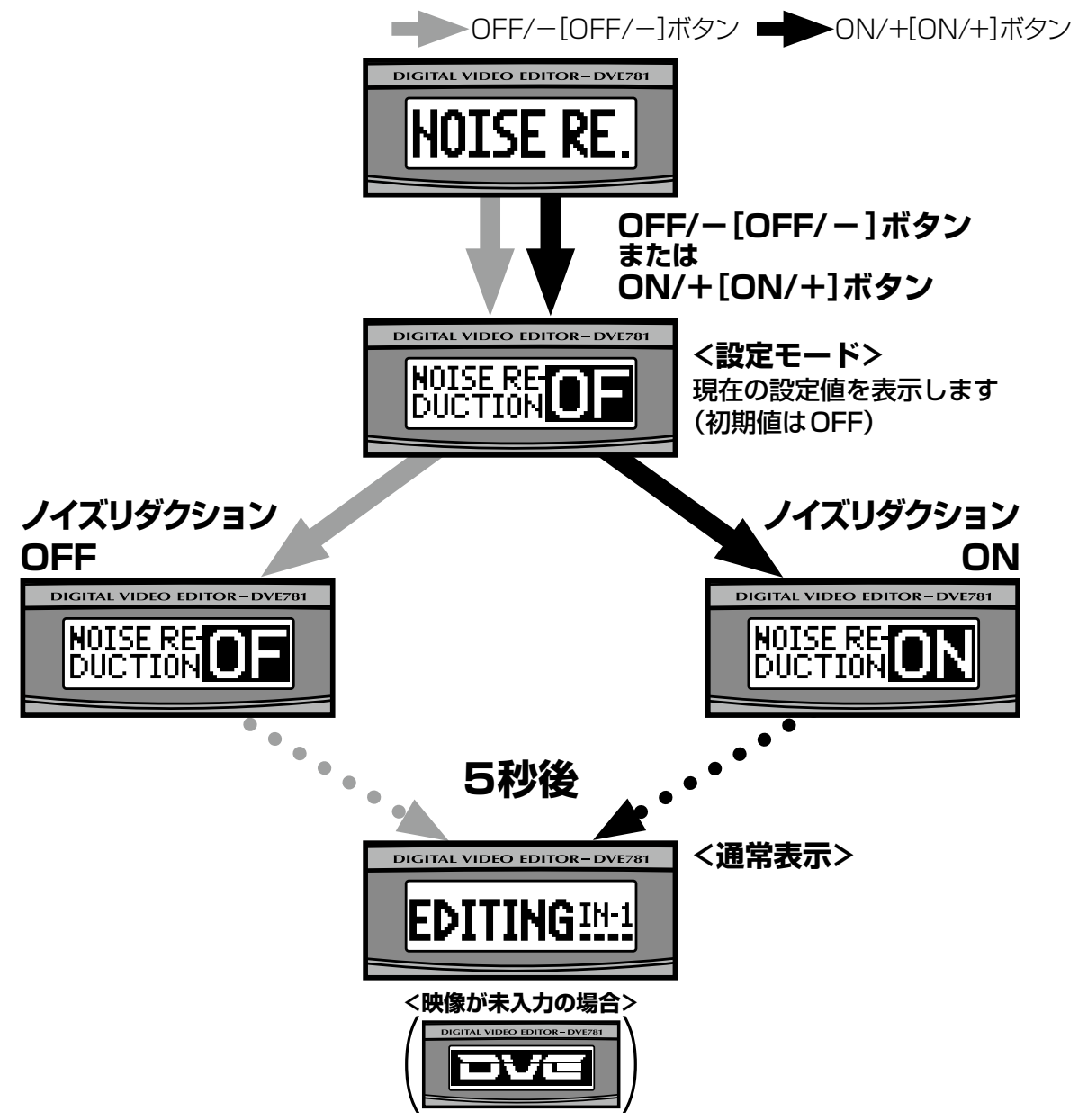
3Dノイズリダクション設定

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

- 1 「NOISE RE.」を表示させる。(p.9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、3Dノイズリダクションの設定を変更できる。



- 効果 果：主にVHS や8mmビデオなどアナログ映像に含まれている、ブロックノイズやざらつきノイズを低減します。
- 使用用途：アナログ映像の編集時にノイズが目立つ場合に使用します。
- 設定方法：「ON」に設定するとノイズ低減処理をおこなってから映像を出力します。
「OFF」に設定するとノイズ低減処理をおこなわずにそのまま出力します。

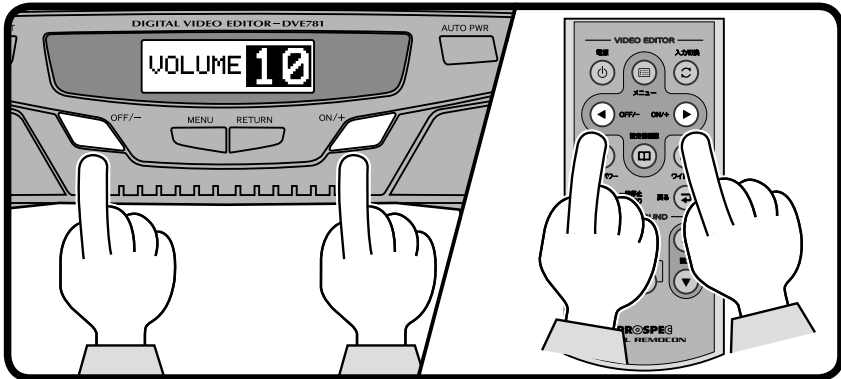


ノイズリダクション OFF の表示	ノイズリダクション ON の表示

音量調整

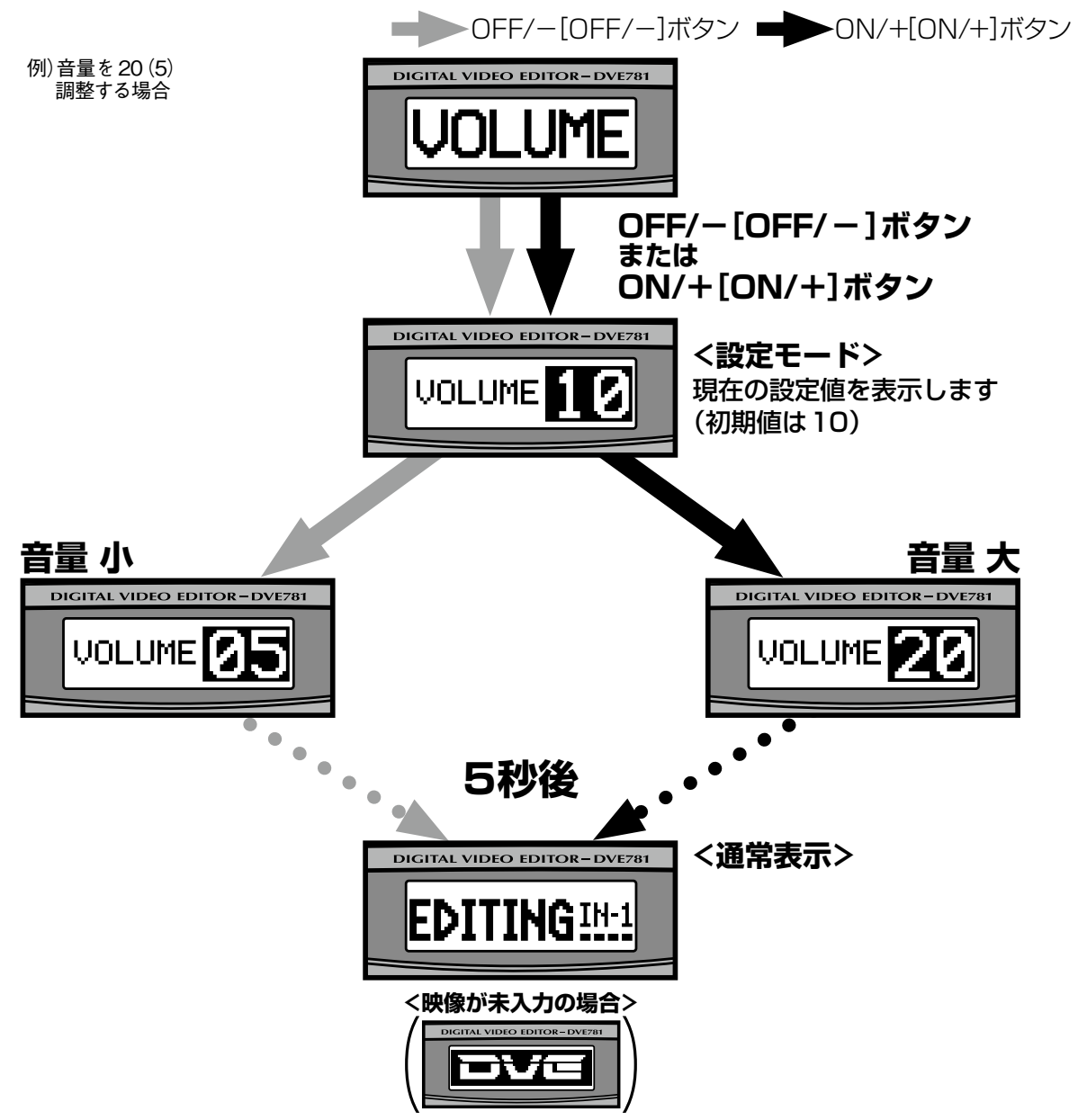
[初期値: 10] [調整範囲: 0 ~ 20]

- 1 「VOLUME」を表示させる。(9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、音量設定を変更できる。



- 効 果：入力した音声を増減します。
- 使用用途：入力した音声が大きすぎる、または小さすぎると感じた場合に使用します。
- 調整方法：設定値が大きくなると音量が大きく、設定値が小さくなると音量が小さくなります。
(1 0に設定すると入力した音量で出力されます)

例) 音量を 20 (5) 調整する場合



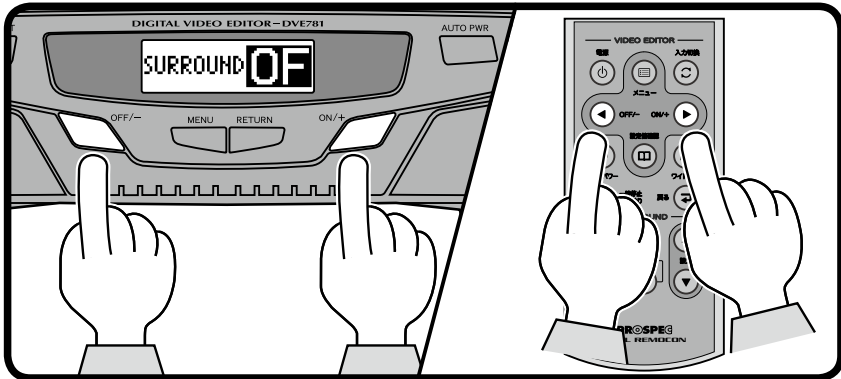
音量調整 5 の表示	音量調整なし の表示	音量調整 20 の表示

ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

サラウンド設定

[初期値: OFF] [設定範囲: OFF/ON]

- 1 「SURROUND」を表示させる。(9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、サラウンドの設定を変更できる。

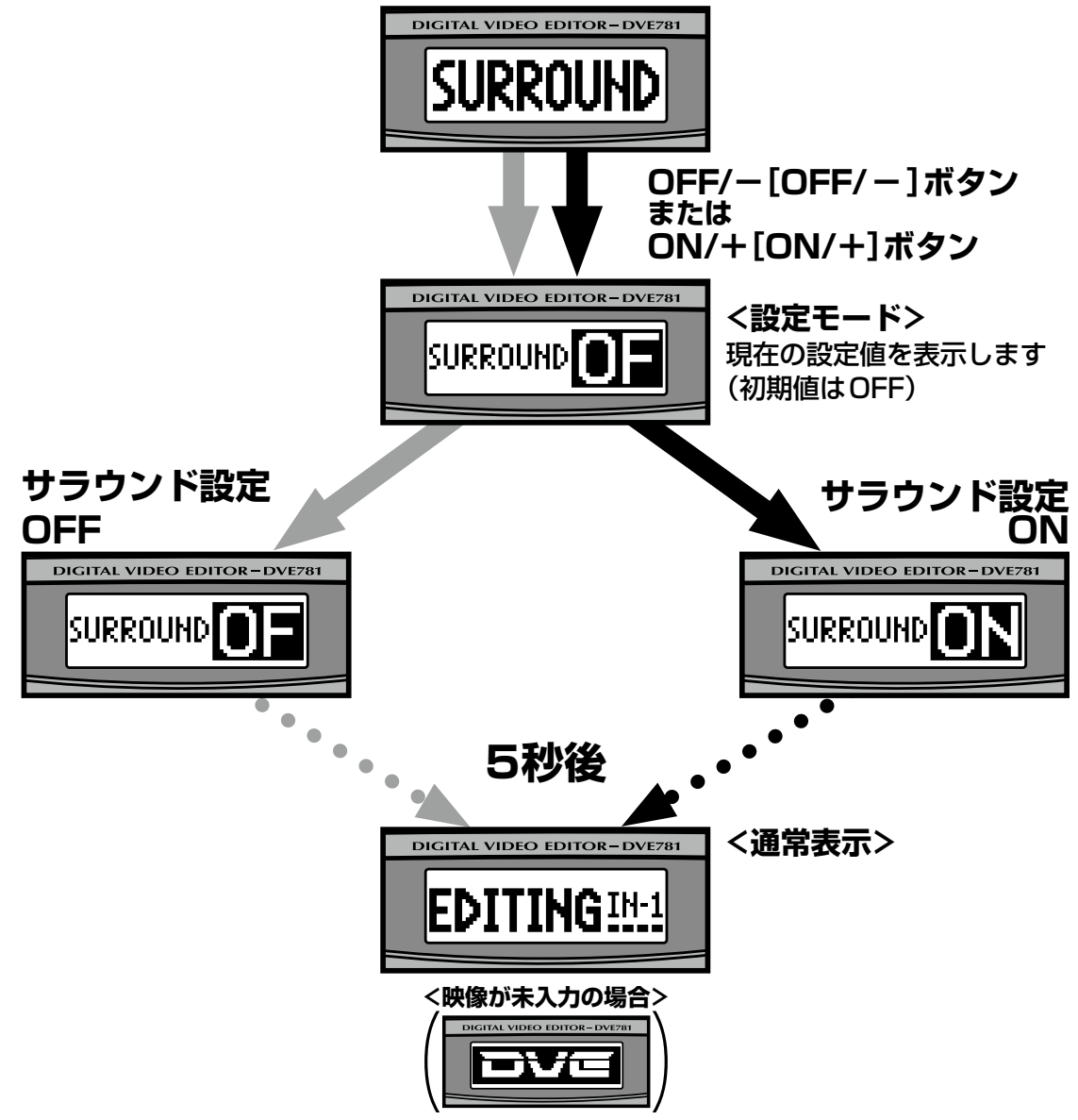


- 効 果：入力した音声にサラウンド効果を加えて出力できます。
- 使用用途：音声に臨場感や広がり感を持たせたいときに使用します。
- 設定方法：「ON」に設定すると出力音声にサラウンド効果が加わります。
「OFF」に設定すると入力した音声そのまま出力されます。

！ワンポイント

・録画中にサラウンド設定を ON にすると、サラウンド効果が加わったまま録画されます。

OFF/ー[OFF/ー]ボタン ON/+ [ON/+]ボタン

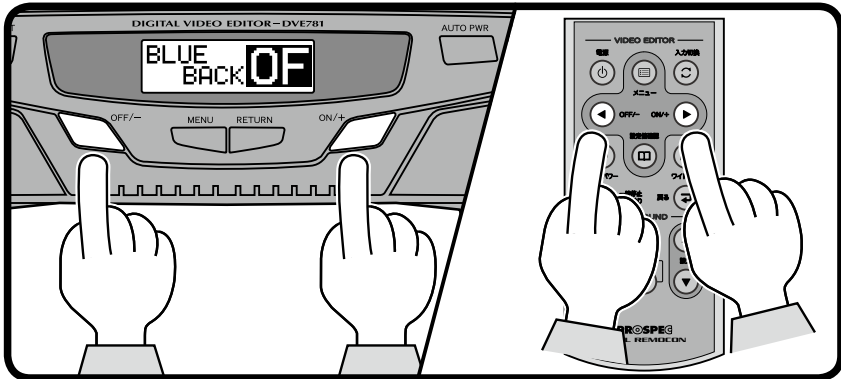


サラウンド設定 OFF の表示	サラウンド設定 ON の表示

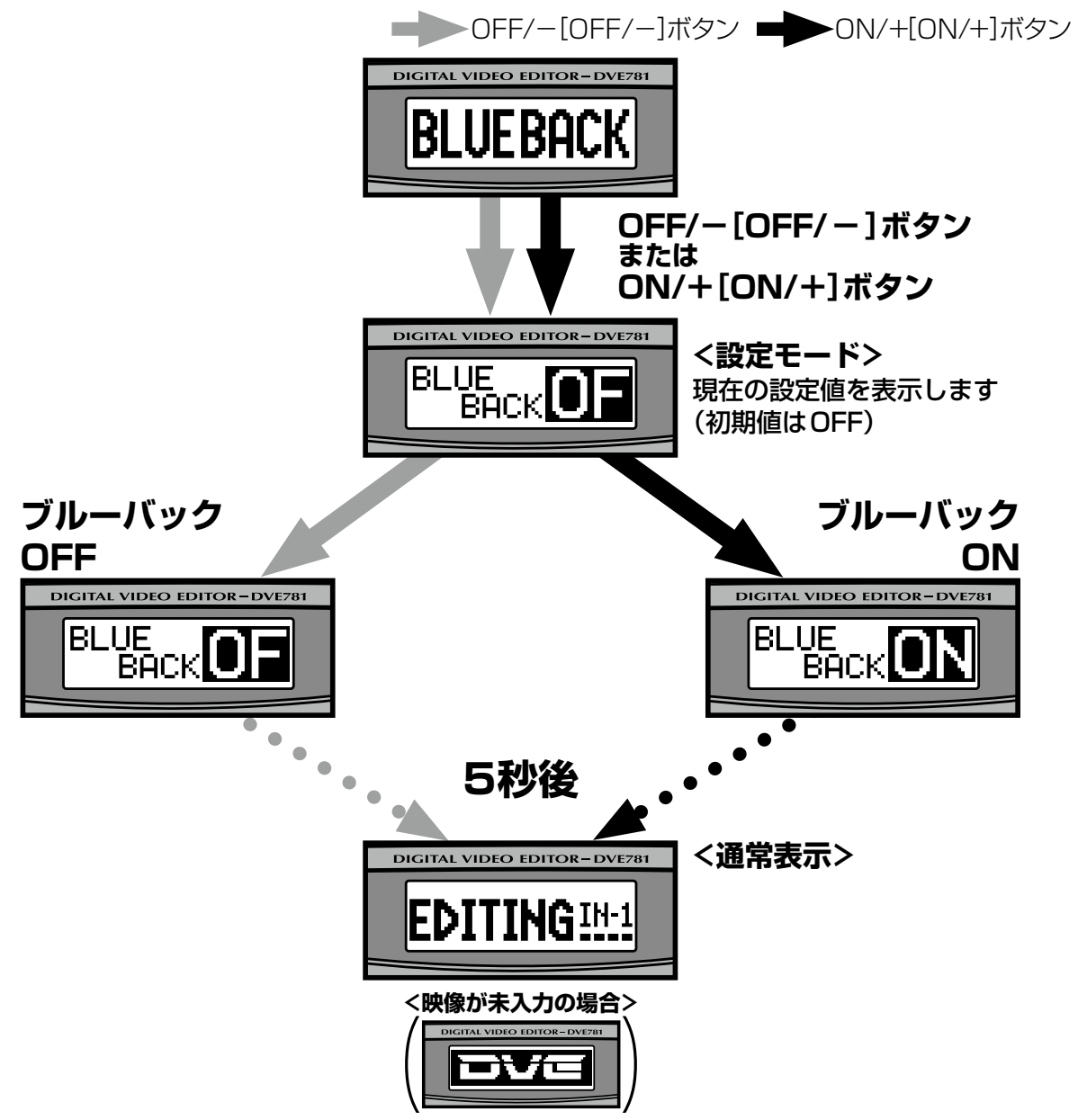
ブルーバック出力設定

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

- 1 「BLUEBACK」を表示させる。(p.9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、ブルーバック出力の設定を変更できる。



- 効果 果：映像信号が入力されないときに、ブルーバック信号を出力するかしないかを選択できます。
- 使用用途：映像信号が入力されたときに自動的に録画を開始する録画機器(オート REC 対応録画機)を使用する際、「OFF」に設定します。
- 設定方法：「ON」に設定するとブルーバック信号を出力します。
「OFF」に設定するとブルーバック信号を出力しません。

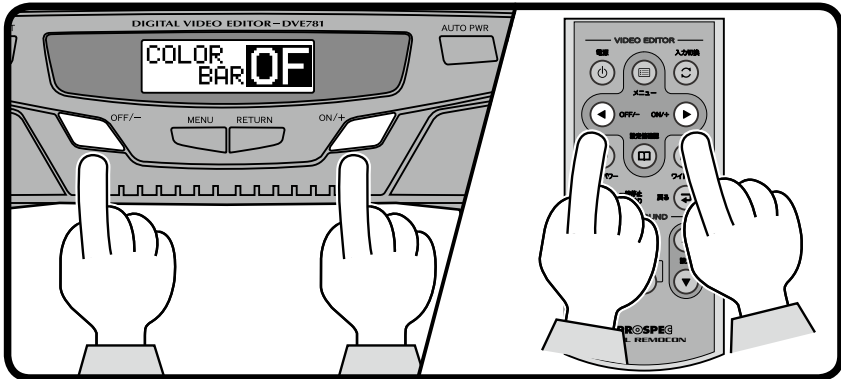


ブルーバック OFF の表示	ブルーバック ON の表示

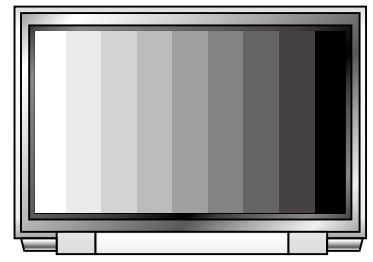
カラーバー出力設定

[初期値:OFF] [設定範囲:OFF/ON]

- 1 「COLORBAR」を表示させる。(p.9 ~ 10 ページ)
- 2 OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたは ON/+ [ON/+]ボタンを押すと、カラーバー出力の設定を変更できる。

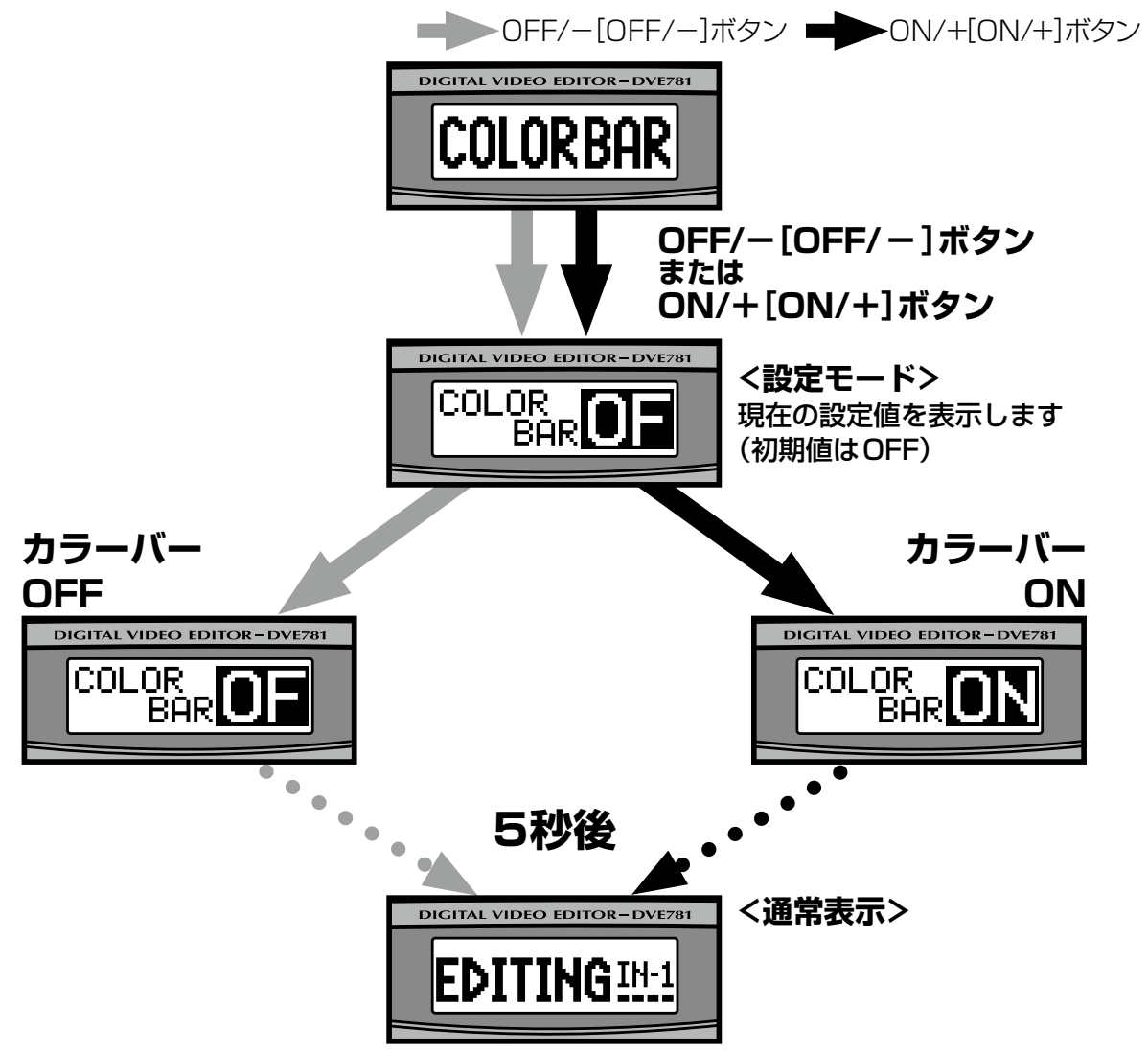


- 効 果：カラーバー信号を出力します。
- 使用用途：モニターの色調整の際に表示させて使用します。録画するときに最初の5秒間ほど録画しておくと、モニターを変えたときに色調整の基準にできます。
- 設定方法：「ON」に設定するとカラーバー信号を出力します。
「OFF」に設定するとカラーバー信号を出力しません。



！ワンポイント

・カラーバー出力中に他のスイッチを押したり電源を切ったりすると、自動的にカラーバー出力がOFFになります。



カラーバー OFF の表示	カラーバー ON の表示

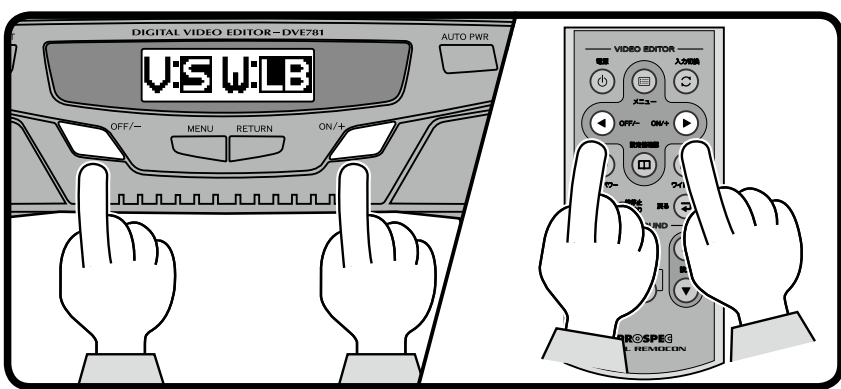
ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

ご使用方法・基本編・
ご使用方法・応用編・
ご使用方法・上級編・
接続の前に
接続のしかた・基本編・
接続のしかた・応用編・

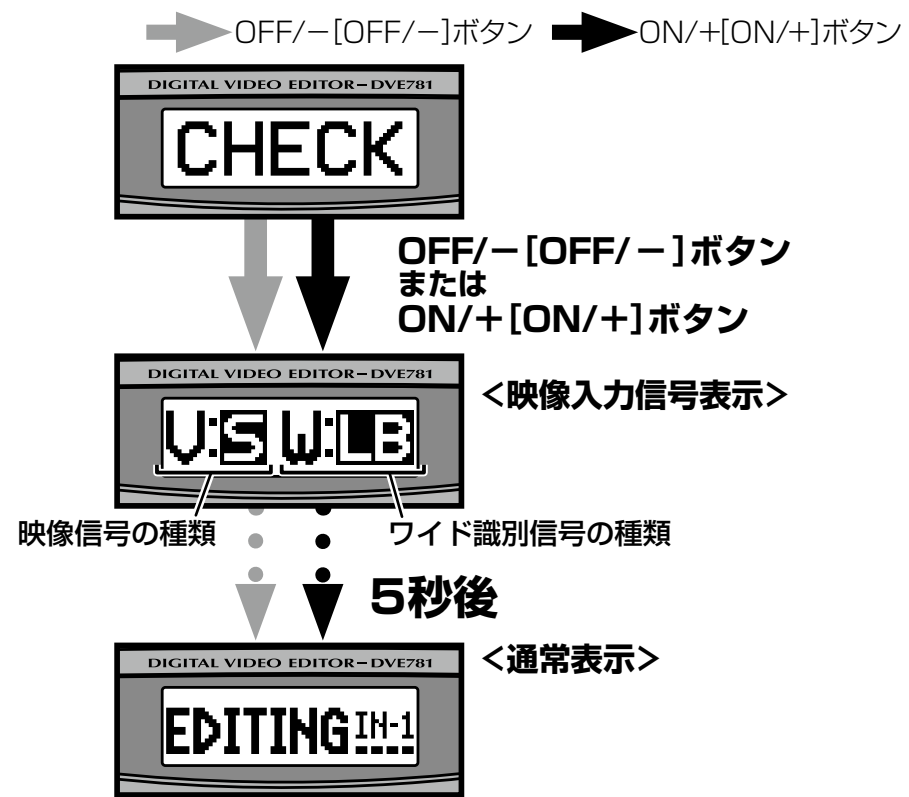
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

映像入力信号チェック機能

- 1 「CHECK」を表示させる。(9 ～ 10 ページ)
- 2 OFF/－[OFF/－]ボタンまたはON/＋[ON/＋]ボタンを押すと、入力している映像信号の種類とワイド識別信号の種類を表示する。



- 効果 果：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認できます。
- 使用用途：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認したいときに使用します。



映像信号		
S端子(セパレート信号)入力の表示	ピン端子(コンポジット信号)入力の表示	映像入力信号がない時 の表示

ワイド識別信号		
レターボックス信号 の表示	スクイーズ信号 の表示	ワイド識別信号がない時 の表示

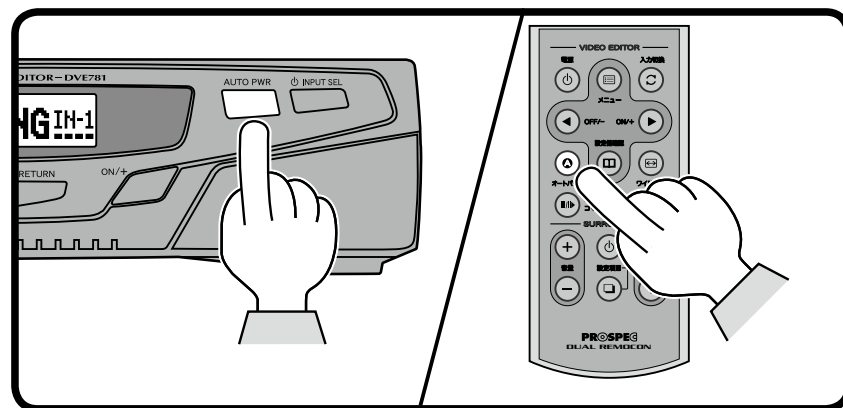
ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

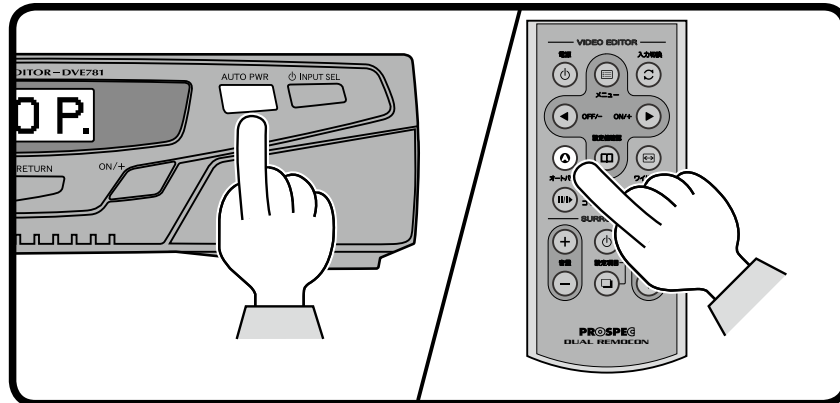
オートパワー設定

【初期値:OFF】 【設定範囲:OFF/ON】

- 1 AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押して「AUTO P.」を表示させ、もう一度AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すと、現在のオートパワー設定値を表示する。



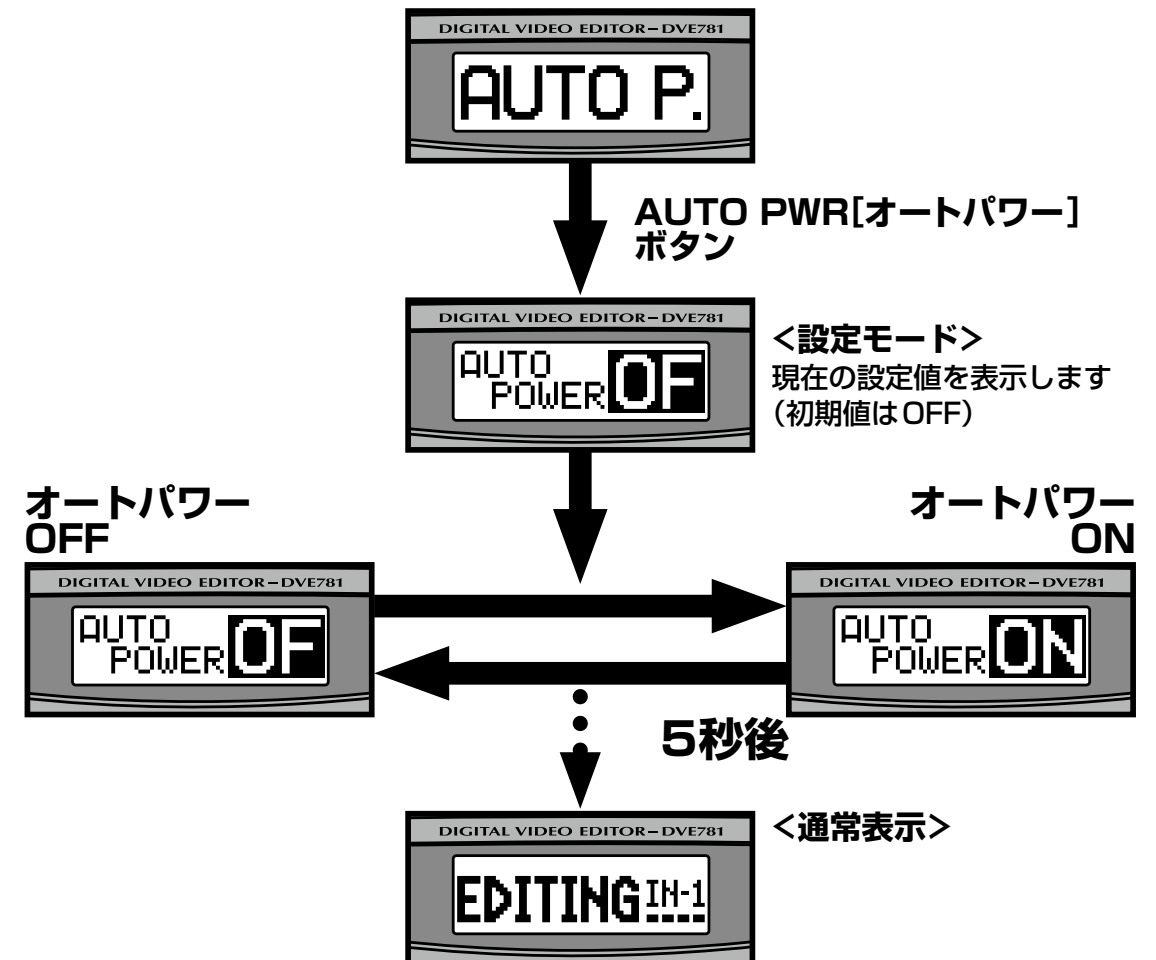
- 2 AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すごとに、オートパワーの設定を変更できる。



- 効果 果：映像信号を入力すると自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。（条件：AC アダプター接続）
- 使用用途：主に録画機のオート REC 機能※使用時に使用します。
- 設定方法：「ON」に設定すると映像信号を入力したと同時に自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。
「OFF」に設定すると映像信号を入力しても自動的に電源は入りません。

※映像信号を入力すると自動的に録画を開始するレコーダーの機能

→ AUTO PWR[オートパワー]ボタン



オートパワーON設定後の動作

- 1 入力系統を選んでから再生機器の電源を切る。
- 2 本機の INPUT SEL[電源] ボタンを押して、電源を切る。
- 3 ディスプレイが消灯し、「wait」が順に点灯することを確認する。同時に選択してある入力系統も表示される。
- 4 再生機器の電源が入ると本機の電源も連動して入り、再生機器の電源が切れると ③ の状態に戻る。



！ワンポイント

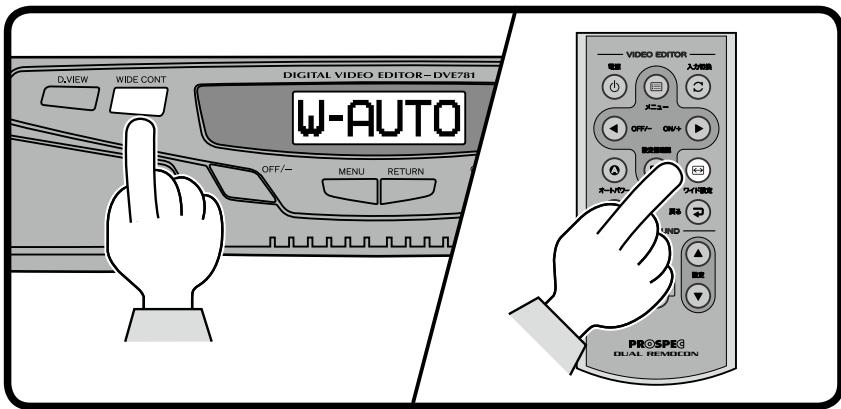
- ・ AC アダプターは接続しておいてください。
- ・ 映像が入力されてから本機の動作が開始されるまでに約2秒かかります。
- ・ オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力したまま INPUT SEL[電源] ボタンを押しても電源は切れません（オートパワー機能が働いているため）。

ご使用方法 - 上級編 -

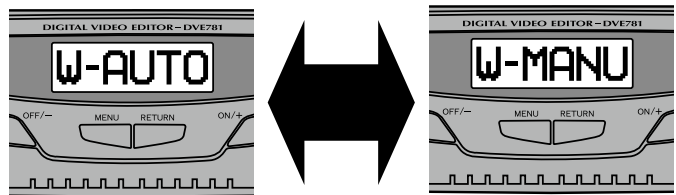
必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

ワイド識別信号コントロール機能

1 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すと、現在のワイド識別信号コントロールの設定を表示する。



2 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すごとに、ワイド識別信号出力コントロールのオート/マニュアルを設定できる。



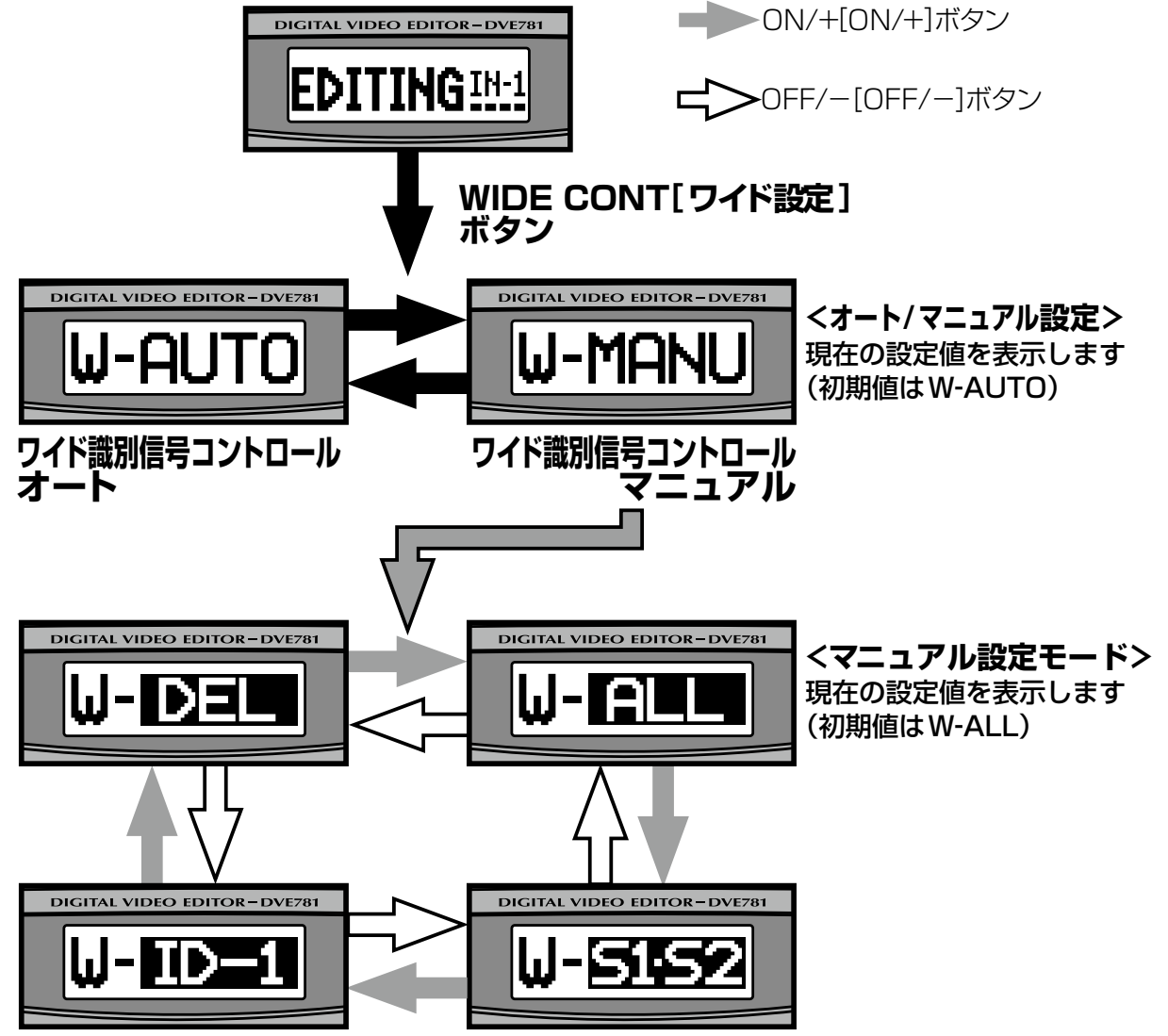
3 マニュアルに設定した場合、OFF/ー[OFF/ー]ボタンまたはON/+ [ON/+]ボタンを押すと、出力するワイド識別信号を変更できる。

- 効果 果：ワイド識別信号の出力方法を選択します。
- 使用用途：通常の使用では「W-AUTO」(オート)、ワイド識別信号をマニュアル出力する場合は「W-MANU」(マニュアル)に設定します。
- 出力方法：「オート」に設定すると、入力されたワイド識別信号をそのまま出力します(ワイド識別信号が入力されない場合はワイド識別信号を出力しません)。
「マニュアル」に設定すると、出力するワイド識別信号を選択できます。
「W-ALL」に設定すると、全てのワイド識別信号(S1/S2/ID-1)を出力します。
「W-S1S2」に設定すると、ワイド識別信号S1・S2を出力します。
「W-ID-1」に設定すると、ワイド識別信号ID-1を出力します。
「W-DEL」に設定すると、入力したワイド識別信号を除去します。

！ワンポイント

- ・録画機またはテレビが特定のワイド識別信号のみを認識する場合や、入力したワイド識別信号が録画機またはテレビが認識できるワイド識別信号と一致しない場合に、特定のワイド識別信号を選択して出力するよう設定します。
- ・ワイド識別信号を含んだ映像では高速ダビングができない機種で高速ダビングをおこないたいとき、ワイド識別信号を除去すれば高速ダビングが可能になります。

- ➡ WIDE CONT[ワイド設定]ボタン
- ➡ ON/+ [ON/+]ボタン
- ➡ OFF/ー [OFF/ー]ボタン



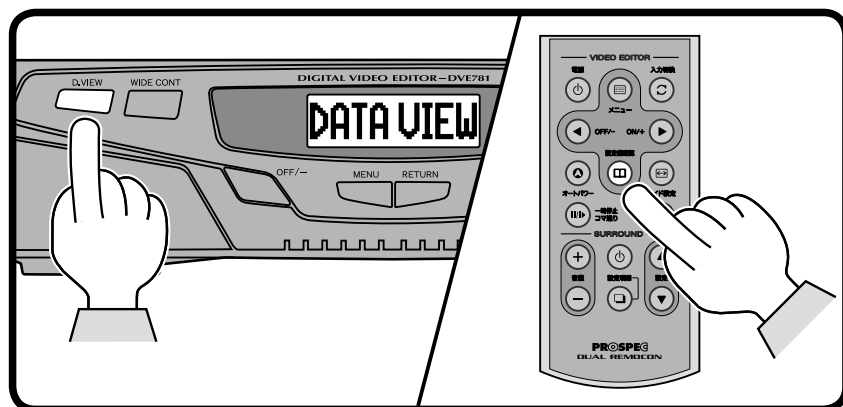
ワイド識別信コントロール オートの表示		ワイド識別信コントロール マニュアルの表示	
ID-1/S1/S2 出力の表示	S1/S2 出力の表示	ID-1 出力の表示	入力ワイド識別信号除去の表示

ご使用方法 - 上級編 -

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

データビュー機能

1 D.VIEW[設定値確認]ボタンを押す。

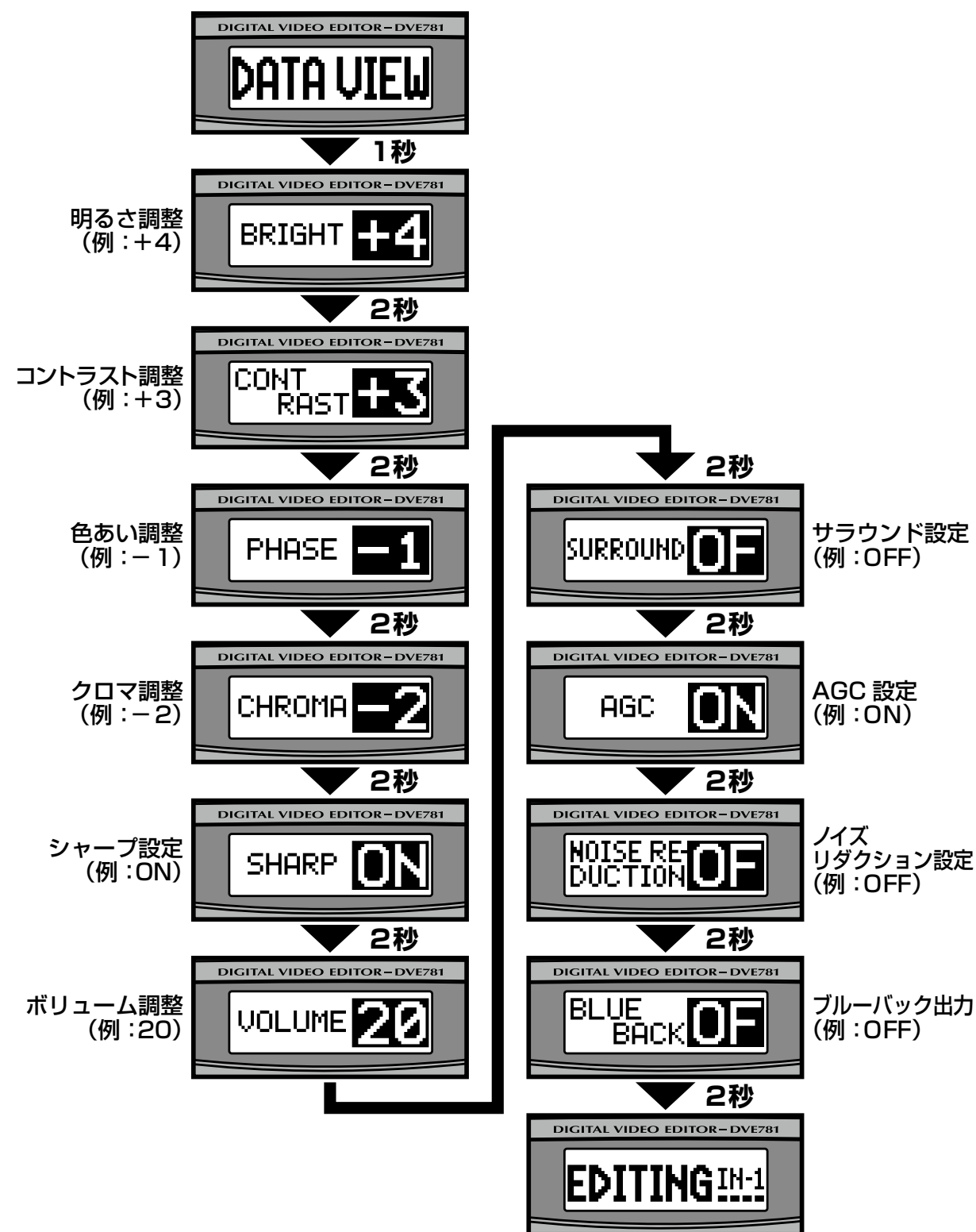


2 各設定値を順に表示する。項目が一巡すると通常表示に戻る。

- 効果 各設定値を確認できます。
- 使用用途 複数の設定を変更している場合でも、それぞれの設定値を簡単に確認できます。

！ワンポイント

- データビュー機能動作中に「ON/+ [ON/+]ボタン」または「OFF/- [OFF/-]ボタン」を押すと、表示されている項目の設定を変更できます(データビュー機能は終了)。
- データビュー機能動作中に「MENU [メニュー]ボタン」を押すと、データビュー機能を終了させ、手動でメニュー項目を移動できます。
- データビュー機能動作中にもう一度「D.VIEW [設定値確認]ボタン」を押すか、電源を切ると、データビュー機能は終了します。



ご使用方法 - 上級編 -

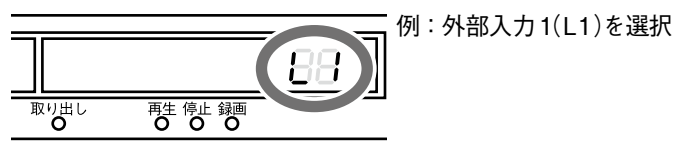
■ ハイブリッドレコーダー1台で編集する

◇ HDDに録画した1回録画(コピーワンス)番組などを記録メディア(DVD-Rなど)に録画する

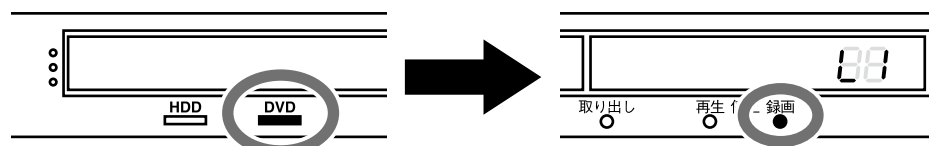
方法 1 HDDから出力した映像を、本機を通して記録メディアに直接録画する。



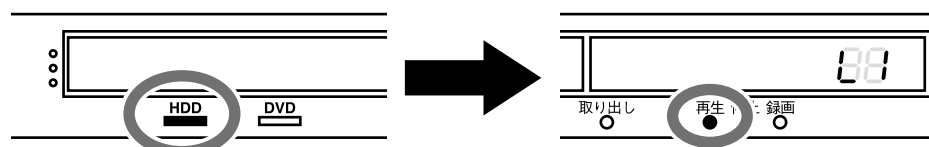
1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2など)に切り替える。



2 DVDを選択して、録画をスタートする。



3 HDDを選択したあと、番組一覧から録画したい番組を再生する。



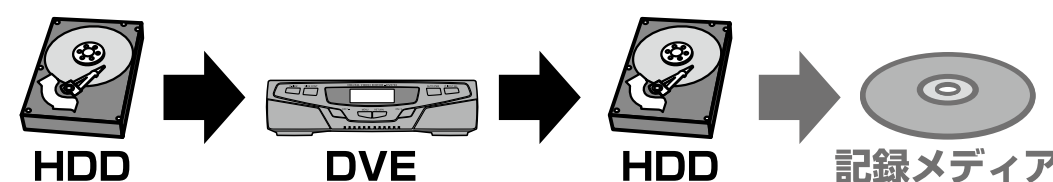
！ワンポイント

- ・本機の接続方法は50ページをご参照ください。
- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- ・上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。
※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

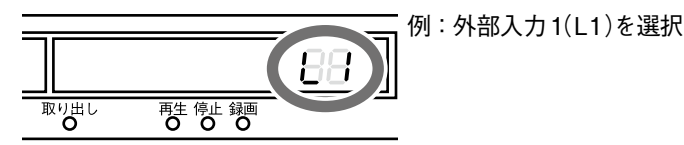
本機とハイブリッドレコーダーの接続方法(50ページ)

(方法1で録画できない場合にお試しください)

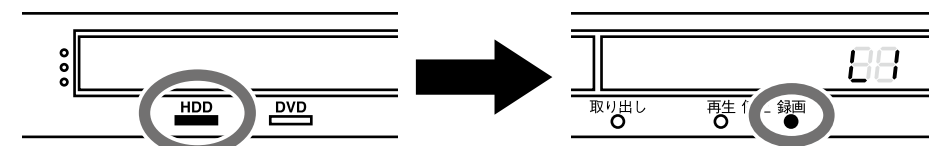
方法 2 HDDから出力した映像を、本機を通してHDDに再録画し、再録画した番組を記録メディアにダビングする。



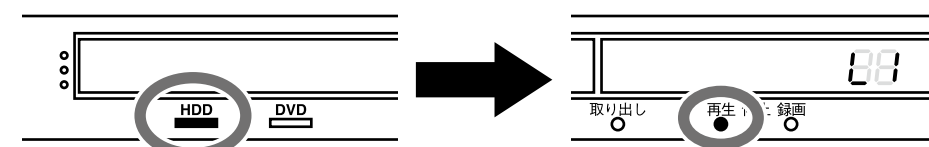
1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力(L1/L2など)に切り替える。



2 HDDを選択して、録画をスタートする。



3 番組一覧を表示させ、録画したい番組を再生する。



4 再録画した番組を、レコーダーの機能を使って通常通りダビングする。(DVEは通さない)

！ワンポイント

- ・本機の接続方法は50ページをご参照ください。
- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- ・上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。
※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

ご使用方法 - 上級編 -

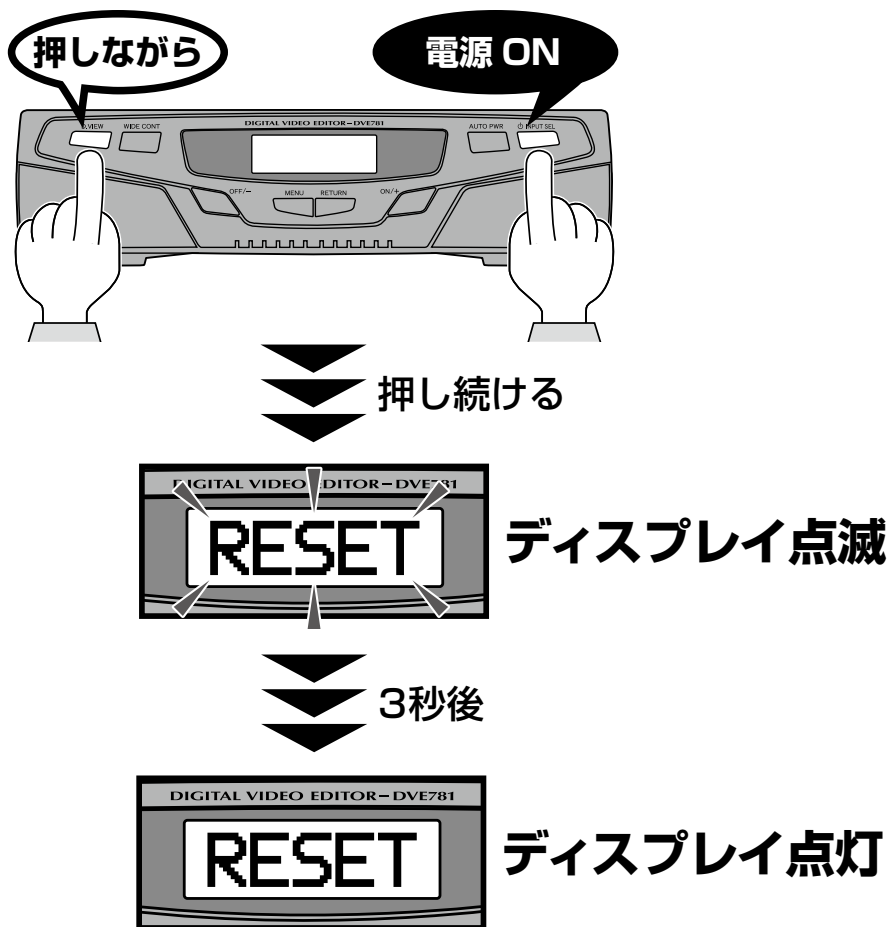
■ 全ての設定を初期値に戻す

全ての設定を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

1 ① INPUT SEL[電源] ボタンを操作して、電源を切る。
(⑤ 5 ページ)

2 D.VIEW ボタンを押しながら① INPUT SEL ボタンを押すと、「RESET」が点滅する。
そのまま 3 秒以上※¹ 押し続けると点滅が点灯に変わり、全て初期状態に戻る。

※1 リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。



! ワンポイント

- ・入力 1 / 入力 2 それぞれに記憶されている設定値が全て初期値に戻ります。
- ・リモコンではリセット操作できません。
- ・リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。